

朝は94歳、昼は84歳 行進は若者が元気に行進!

いよいよ高松市内最後の行進となりました。琴電円座駅前に、若者がどんどん集まります。その数9名、初参加が6名となりました。出発式は水田順一医療生協理事が、早く終わってほしいものが二つあると切り出し、一つはコロナ、そしてもう一つはウクライナ戦争と指摘し、ロシアの身勝手な侵略とさらに核兵器での脅しを告発し、これを無くすことが平和と強調し挨拶。さらに94歳になる宮武實さんに一言依頼すると、昔はよく歩いたが、原爆なくすために頑張ろうと激励、差し入れも頂きました。

この発言に山口逸郎さんも、初めてお兄さんに会えたと喜び、平和行進は10年前に始めて病みつきになったと自己紹介。

本日の平和行進は、行進責任者を初参加のHさんに頼みましたが、最後までしっかり務めて頂きました。安全に終わり、感謝感謝!

終結集会も、北村和男さん(84歳)が行進参加者への労いと今後とも頑張ってくださいと、昔は世界大会はじめ、沖縄・辺野古へも参加したと話が弾みました。今日で静岡へ帰る小林和江さんは、静岡のキャッチフレーズは「一富士・二お茶・三次郎長」と紹介し、四国初めての行進、楽しかったとお礼し帰っていきました。



前列に94歳・90歳が並びます



高松市内最後の終結集会

<直島町の平和行進初参加者の紹介(つづき)>

★高松平和病院 戸谷友美

初めて参加させていただきました。平和について考えながら歩くことで、少しでも力になれたかなと思います。また、機会がありましたら参加させてください。ありがとうございました。

★高松平和病院 高橋加奈恵

平和を思い、人が同じ方向を見て歩く事は、何もしないより意味のある事だと感じました。ありがとうございました。